

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2014年50週 (12月2週 12/8~12/14)

2014年11月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

インフルエンザ、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、エボラ出血熱、集団かぜの発生
 病原体検出情報
 定点医療機関コメント
 インフルエンザ、感染性胃腸炎、RSウイルス感染症、溶血性レンサ球菌感染症、咽頭結膜熱等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(23)、腸管出血性大腸菌感染症(1)、デング熱(1)、レジオネラ症(3)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(5)、破傷風(1)

2014年11月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

インフルエンザ

50週の定点当たり報告数は3.44と、流行開始基準(1.0)を超えています。49週308人 50週671人(2.18倍)です。

【参考ページ】

「インフルエンザの流行入り」しました!(12月3日発表)

<http://www.pref.aichi.jp/0000057292.html>

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

名古屋市: 集団かぜによる学級閉鎖等の状況(12月17日更新)

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-11-0-0-0-0-0.html>

豊田市: インフルエンザ(12月18日更新)

http://www.city.toyota.aichi.jp/division/as00/as03/1252134_17451.html

豊橋市: インフルエンザの流行状況(12月16日更新)

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/6893.htm>

岡崎市: インフルエンザ、集団かぜの発生状況(12月11日更新)

<http://www.city.okazaki.aichi.jp/1100/1107/1146/p015469.html>

RSウイルス感染症(図1)

50週の小児科定点当たり報告数は2.22と、2003年から2013年の最高値(2009年52週の1.74)を上回っています。49週337人 50週404人(うち0歳160人、1歳127人)で、2歳未満の報告数が全体の71.0%を占めています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(図2)

50週の定点当たり報告数は2.40、49週436人 50週437人(1.00倍)です。

感染性胃腸炎(図3)

50週の定点当たり報告数は8.89、49週1,442人 50週1,618人(1.12倍)です。

エボラ出血熱

【参考ページ】エボラ出血熱について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/ebola.html>

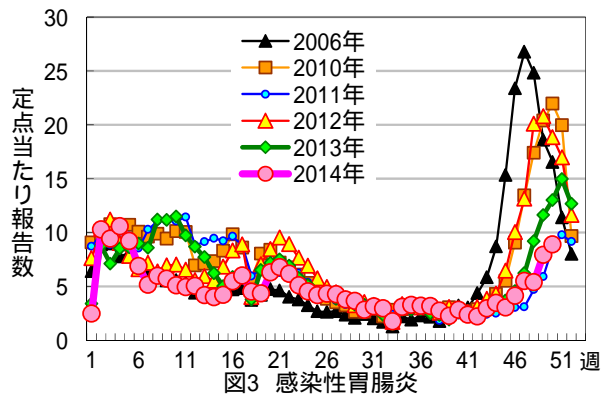
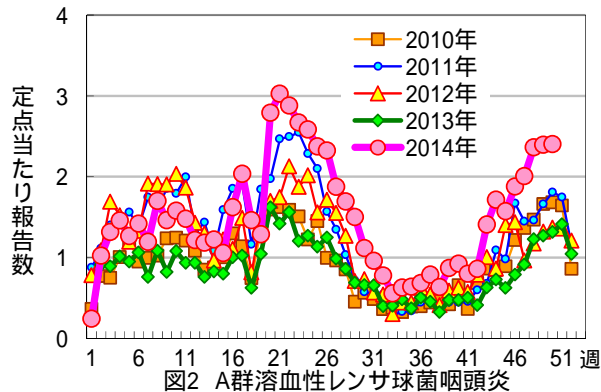
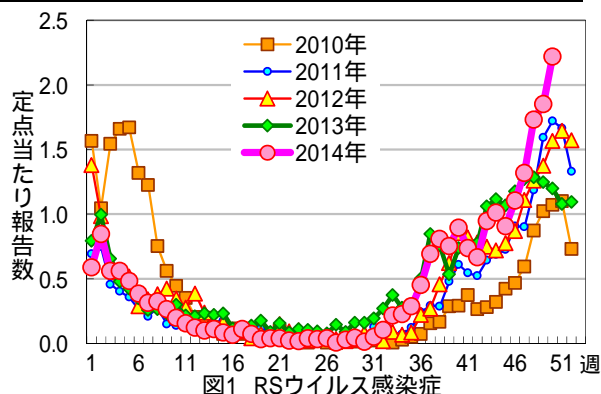
エボラ出血熱の国内発生を想定した医療機関における基本的な対応について(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/dl/20141024_01.pdf

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/dl/20141024_01.pdf

集団かぜの発生(健康対策課発表)

発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
12月12日	瀬戸	集団かぜの発生について(2014-2015シーズン) http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/syudankaze2.html http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/ichiran.pdf
12月15日	瀬戸、半田、豊川、知多、衣浦東部	
12月16日	一宮、瀬戸、半田、春日井、津島、衣浦東部	
12月17日	一宮、知多、衣浦東部	



病原体検出情報 2014年疾患別ウイルス検出速報 (2014年12月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ	**麻疹・風疹
患者数	244	54	48	12	31	42	16	195(12)	34(44)
CV-A2	-	-	3	-	-	1	-	-	-
CV-A4	2	2	17	-	-	-	-	-	-
CV-A10	-	2	5	-	-	-	-	-	1(0)
CV-A16	-	27	1	-	-	-	-	-	-
EV-71	-	1	-	-	-	-	-	-	-
CV-A9	-	-	-	-	-	-	-	-	3(0)
CV-B2	-	-	-	-	-	1	-	-	-
CV-B5	-	-	-	-	-	1	-	-	-
E-6	-	-	-	-	1	-	-	-	-
E-11	5	1	-	-	-	15	-	-	-
E-25	1	-	-	-	-	-	-	-	1(0)
E-30	-	-	-	-	-	2	-	-	-
HPeV-1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
FluAH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	55	(1)
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	56(3)	-
FluB	-	-	-	-	-	-	-	52	1(0)
MuV	-	-	-	-	-	1	-	-	-
MeV	-	-	-	-	-	-	-	-	10(14)
HPIV-2	-	-	1	-	-	-	-	-	-
RUBV	-	-	-	-	-	-	-	-	2(0)
Reo-2	1	-	1	-	-	-	-	-	-
Rota A G1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	3	-	-	-	-	-	-	-	-
NV-GI	2	-	-	-	-	-	-	-	-
NV-GII	58	-	-	-	-	-	1	-	-
SV	4	-	-	-	-	-	-	-	-
AstV	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	-	1	-	1	-	-	-	-	-
Ad-2	6	-	-	1	1	-	-	-	-
Ad-3	-	-	1	5	6	-	-	-	(1)
Ad-4	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Ad-5	2	2	-	-	-	1	-	-	-
Ad-8	-	-	-	-	1	-	-	-	-
Ad-41	12	-	-	-	-	-	1	-	-
Ad-54	-	-	-	-	1	-	-	-	-
B19V	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)
HSV-1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
検査中	35	9	3	3	2	3	2	(9)	(3)
陰性	120	11	15	1	19	17	12	32	16(24)

*インフルエンザは2013/2014シーズンの検査結果、()は2014/2015シーズンの結果

**麻疹・風疹の()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略: ウイルス名(他の略名)

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、B19V: ヒトパルボウイルスB19、CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、E: エコーウイルス、EV-71: エンテロウイルス71型、FluAH1pdm09: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、FluB: B型インフルエンザウイルス、HPeV: ヒトパレコウイルス、HPIV: ヒトパラインフルエンザウイルス、HSV-1: 単純ヘルペスウイルス1型、MeV: 麻疹ウイルス、MuV: ムンプスウイルス、NV: ノロウイルス、Reo-2: レオウイルス2型、Rota A: ロタウイルスA、RUBV: 風疹ウイルス、SV: サポウイルス

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

先週分から 12 歳女 カンピロバクター検出
【一宮市 あさのこどもクリニック】
15 歳男 インフルエンザ A 型
【一宮市 後藤小児科医院】
インフルエンザ A 型 6 名
【稲沢市 野村小児科】
感染性胃腸炎 多い。
アデノウイルス、水痘 散発
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
管内の中学生の水泳大会でインフルエンザ
が出ている様です。
幼稚園ではアデノウイルスが流行っている
そうです。
RS 4 名、A 群溶連菌 10 名、水痘 2 名、
伝染性紅斑とプール熱 1 名でした。
【犬山市 武内医院】

感染性胃腸炎、溶連菌感染症、アデノウイル
ス感染症、RS ウイルス感染症が流行しています。
インフルエンザは今のところありません。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
RSV 感染症 多発しています。
水痘、手足口病 続発中
インフルエンザはまだありません。
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
4 歳男 病原大腸菌 O1
31 歳女 マイコプラズマ肺炎
再び溶連菌が増えて参りました。
【清須市 丹羽医院】
インフルエンザ A 型 46 歳女 1 名
【津島市 医療法人参育会加藤医院】

尾張東部地区

今週も溶連菌感染症が多くみられました。
インフルエンザ A 型 4 名(この地域での流
行が始まったようです。)
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
インフルエンザ A 型 3 名
【長久手市 医療法人水野内科】
溶連菌 23 名
インフルエンザ 3 名
アデノ 1 名
【豊明市 こども元気クリニック】
RS ウイルスは依然多いです。
インフルエンザは A 型が救急外来でも出る
ようになりました。
【春日井市 春日井市民病院】
感染性胃腸炎 続発
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
インフルエンザは全員 A 型です。
【小牧市 小牧市民病院】
インフルエンザ A 型 3 例
その他 RS 感染、溶連菌感染、手足口病、
感染性胃腸炎も続いています。
【小牧市 志水こどもクリニック】

インフルエンザ A 型がでてきました。
感染性胃腸炎はあいかわらず多いです。
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
インフルエンザ A 7 人
【半田市 医療法人林医院】
インフルエンザ A 型 3 人
【南知多町 医療法人大岩医院】
6 か月未満の RS ウイルス感染症 4 人
インフルエンザ A 18 人
【半田市 ひいらぎこどもクリニック】
インフルエンザ すべて A 型です。市内の特
定の小学校で流行中です。
感染性胃腸炎の児もやや多かったです。
ノロウイルス胃腸炎 1 名
RS ウイルス感染症 2 名
アデノウイルス感染症 4 名(2 歳~4 歳)
【東海市 もしもしこどもクリニック】
アデノウイルス 12 名
胃腸炎が増えてきています。
【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

StrepA(+) 5歳男
マイコプラズマ肺炎とASOにてGAS(+) 12歳男
RSV(+) 1歳男 2歳女
インフルエンザA(+) 4名
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
インフルエンザ 5名 全てA型(内4名は相互に関係者です。)

【岡崎市 栗屋医院】

インフルエンザA型 1名

【岡崎市 医療法人永坂内科医院】

インフルエンザは全てA型

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

ノロ(+)の子が増加

手足口病も軽いが流行中

インフルA 14名

【岡崎市 花田こどもクリニック】

アデノ(+) 3歳女、2歳男

インフルA 1名

10か月女 病原性大腸菌O1(+)VT(-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

マイコプラズマ肺炎 5歳男

その他、特記すべきことはありません。

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】

溶連菌感染症、RSウイルス感染症が目立ちます。

【碧南市 永井小児クリニック】

インフルエンザA型 2名

【西尾市 西尾市民病院】

カンピロバクター腸炎 8歳女

感染性胃腸炎 流行

インフルエンザA型 4名(全て20歳以上)

【西尾市 山岸クリニック】

病原性大腸菌 5歳男(O15、VT陰性)

【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

インフルエンザAで学級閉鎖がでました。

感染性胃腸炎、溶連菌もいます。

RSウイルス感染症も流行中です。

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

インフルエンザA型 3名でした。

【豊橋市 医療法人山本内科】

インフルエンザA型 5人

【豊川市 ささき小児科】

インフルエンザA型 1名

【豊川市 豊川市民病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2014年12月17日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun140919.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2014年50週報告数			2014年累計(1～50週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	9	2	1	712	186	190
豊田市	1			73	20	22
豊橋市	1			70	18	23
岡崎市	1	1		58	25	12
一宮	2		1	153	39	50
瀬戸	3		1	147	29	50
半田				34	14	9
春日井	1	1		78	19	14
豊川				54	18	13
津島				72	14	29
西尾	1	1		44	17	10
江南				55	19	10
新城	1			5	2	1
知多	2	1	1	85	21	23
清須				43	6	18
衣浦東部	1		1	98	25	27
合計	23	6	5	1,781	472	501

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	46歳	女	- / -	12 / 8	12 / 8	O91、VT1(+) 無症状病原体保有者

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

デング熱（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	34歳	女	デング熱	タイ

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	豊橋市	49歳	男	肺炎型	国内
2	岡崎市	87歳	女	肺炎型	国内
3	一宮	65歳	男	肺炎型	国内

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	江南	78歳	男	その他	国内	無

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	瀬戸	72歳	男	国内
2	知多	89歳	女	国内

侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	豊川	9歳	男	無	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	0歳	男	有	国内
2	豊川	84歳	女	無	国内
3	津島	86歳	女	無	国内
4	江南	75歳	男	無	国内
5	衣浦東部	86歳	男	不明	国内

破傷風（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	衣浦東部	72歳	男	無	国内

2014年11月報

(2014年12月17日現在、診断週に基づく集計)

11月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [() は無症状病原体保有者再掲。]

2013～2014年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数	2014年11月			2014年	2013年
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0
二類 (5)	結核	93 (26)	65 (19)	158 (45)	1,734 (490)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	1 (0)	3 (0)	4 (0)	125 (28)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
四類 (43)	E型肝炎	0	0	0	1
	A型肝炎	0	0	0	8
	チクングニア熱	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0
	デング熱	0	0	0	9
	マラリア	0	0	0	1
	レジオネラ症	2	2	4	51
五類 (18)	アメーバ赤痢	4	2	6	67
	ウイルス性肝炎	1	0	1	12
	内訳				
	B型	1	0	1	11
	その他	0	0	0	1
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症*	3	0	3	11
	急性脳炎	0	0	0	17
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	10
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	2	4	16
	後天性免疫不全症候群	1	4	5	94
	内訳				
	無症候性キャリア	1	3	4	64
	AIDS	0	1	1	29
	その他	0	0	0	1
	ジアルジア症	0	0	0	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症**	0	0	0	12
	侵襲性髄膜炎菌感染症**	0	0	0	2
	侵襲性肺炎球菌感染症**	11	6	17	108
	水痘(入院例に限る。)*	2	0	2	7
	先天性風しん症候群	0	0	0	0
	梅毒	0	2	2	104
	内訳				
	無症候	0	0	0	48
	早期顕症	0	1	1	50
	晩期顕症	0	1	1	6
	破傷風	0	0	0	3
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1
	風しん	3	0	3	21
	麻しん	0	0	0	46
	総計	123	86	209	2,474
					3,022

* 2014年9月19日から、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」及び「播種性クリプトコックス症」が五類感染症(全数把握対象疾患)に追加されました。また、五類感染症の「水痘(入院例に限る。)」及び「薬剤耐性アシネトバクター感染症」が全数把握対象疾患となりました。なお、五類感染症(定点)の「水痘」は、引続き小児科定点把握対象疾患です。

** 2013年4月1日から、五類感染症(全数把握対象疾患)に「侵襲性インフルエンザ菌感染症」及び「侵襲性肺炎球菌感染症」が追加されました。なお、この2疾患()を除く細菌性髄膜炎については引続き基幹定点把握対象疾患です。同じく五類感染症の「髄膜炎菌性髄膜炎」が「侵襲性髄膜炎菌感染症」に変更されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2014年11月			2014年 累計		2013年 総計		
	愛知県 <名古屋を除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体		
				合計	合計			
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	25	36	61	837	960	1,688
		女	34	20	54	645	728	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	8	7	15	156	235	685
		女	22	14	36	431	450	
	尖圭コンジローマ	男	11	6	17	206	226	379
		女	1	3	4	122	153	
	淋菌感染症	男	18	25	43	544	620	707
		女	3	0	3	74	87	
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		53	7	60	1,022	1,212	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		5	0	5	50	84	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	4	9	
	薬剤耐性アシネトバクター感染症		-	-	-	0	0	

2014年9月19日から全数把握に変更

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2014年11月			2014年 累計		2013年 総計	
	愛知県 <名古屋を除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体	
エキノコックス症の犬	0	0	0	1		0	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2014年9月19日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (43疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症* (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症** (2疾病)	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2014年9月19日に「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」及び「播種性クリプトコックス症」が五類感染症に追加されました。
 ** 2013年5月6日に指定感染症に定められた「鳥インフルエンザ(H7N9)」は、指定感染症としての指定期間が1年間延長されました。
 2014年7月26日に「中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)」が指定感染症に追加されました。

